

平成28年度豊山町行財政運営に関する有識者懇談会会議録

- 1 開催日時 平成29年2月28日(火) 午後3時から午後4時まで
- 2 開催場所 豊山町役場3階 会議室3
- 3 出席者
 - (1) 委員 細井土夫委員 米川ひかり委員 高橋 真委員
 - (2) 事務局 服部正樹町長 鈴木邦尚副町長 梶田浩昭理事 安藤光男総務部長
小川徹也総務課長 林真吾総務・人事係長
- 4 議題
 - (1) 新たな財源確保について
 - (2) 将来に向けての豊山町の行政組織・サービスのあり方について

5 議事内容

課長：本日はご多忙のところ、懇談会にご出席賜りまして誠にありがとうございます。定刻より若干早いですが、ただ今から平成28年度豊山町行財政運営に関する有識者懇談会を開催いたします。この懇談会の会議録は、町のホームページで公開させていただきますので、あらかじめご了承くださいませようよろしくお願いいたします。それでは、本日の資料のご確認をお願いいたします。本日の会議次第、出席者名簿、配席図がございます。その後ろに、本日の議題に関する参考資料がございます。お手元がない資料等がございましたら、こちらで準備をさせていただきますが、よろしいでしょうか。

【町長あいさつ】

課長：それでは懇談会の開催にあたりまして、服部町長からごあいさつを申し上げます。

町長：豊山町長の服部正樹でございます。どうぞよろしくお願いいたします。本日は、細井土夫様、高橋真様、米川ひかり様、ご多忙のなか平成28年度豊山町行財政運営に関する有識者懇談会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、昨年度は第5次豊山町行政改革大綱の策定に関しまして貴重なご意見をいただきましたこと、重ねてお礼申し上げます。さて、最近の本町を取り巻く状況でございますが、町の3分の1を占める県営名古屋空港におきましては、平成28年度の航空旅客数が今年1月の時点で既に昨年度の73万7千人を超えており、順調に推移しますと、今年度は90万人に達する見込みでございます。また、空港に隣接しておりますMRJの最終組立工場や塗装工場の建設も進んでおり、愛知県が運営します

航空機をテーマとしました展示拠点施設「あいち航空ミュージアム」につきましても、今年11月30日のオープンに向け、順調に進んでいるところです。定住者につきましても、右肩上がりです。人口が増加しているところですが、観光施設の完成に伴いまして、交流人口につきましても増加する見込みでございます。このように、本町を取り巻く社会・経済環境は大きく変わろうとしております。それに伴いまして、行政ニーズはますます増大し、内容も多様化・高度化してまいります。そうした中で、本町の基本理念である「小さくてキラリと輝くまちづくり」を実現するためには、時代の変化に柔軟に対応した行財政運営が必要不可欠となります。本日の懇談会では、「新たな財源確保」と「将来に向けての豊山町の行政組織・サービスのあり方について」の2つを議題としまして、私と副町長を交えまして、ざっくばらんに意見交換をさせていただければと存じます。皆様には、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、私のあいさつとさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いたします。

【委員委嘱】

課長：続きまして、委員の委嘱状を交付させていただきます。委員の任期は、設置要綱の規定により2年とされております。皆様におかれましては、平成28年9月21日をもって任期が切れておりますので、本日、平成29年2月28日付けで新たに委員として委嘱させていただきます。委嘱状をお渡ししたいと存じます。恐れ入りますが、自席にて町長から委嘱状をお受け取り願います。

【町出席者紹介】

課長：それではここで、町側の出席者を紹介させていただきます。順次、自己紹介をいたしますので、よろしくお願いたします。

(町職員自己紹介)

【座長選任】

課長：続きまして、座長の選任に移りたいと存じます。本日は、委員の皆様が委嘱されて初めての会議になりますので、設置要綱第3条第3項の規定に基づきまして、座長を互選により選任することとなります。座長の選任について、ご意見等がございましたら、ご発言をお願いいたします。

委員：引き続き、細井委員に座長をお願いしてはいかがでしょうか。

課長：ただ今、委員から細井委員を座長に推薦するご発言がありましたが、細井委員、いかがでしょうか。

委員：互選ということで、他の委員のご了承があれば。

委員：私も、細井委員に引き続きお願いできればと思います。

課長：それでは、細井委員に座長をお願いしたいと存じます。

委員：わかりました。私自身、豊山町の出身ではありませんが、豊山町の顧問弁護士をさせていただいており、また、事務所の弁護士に豊山町の出身者がいるという縁がございます。うまく取り回しできるかどうか分かりませんが、どうぞよろしく申し上げます。

【議事進行】

課長：それでは、議題にうつります。議事の取り回しにつきましては、座長にお願いいたします。

<議題1 新たな財源確保>

座長：それでは、議題1の新たな財源確保について、事務局より説明をお願いします。

係長：(資料に基づき、本町の財政状況やふるさと寄附金の状況等について説明)

座長：資料を見る限り、今回のテーマはふるさと寄附金がメインですね。制度の意図は十分理解できるのですが、新聞等によりますと、最近では過当競争が問題になっているようですね。委員の皆さんは、実際に寄附をされているのでしょうか。

委員：私は、複数の自治体で寄附を行っています。

町長：お住まいの自治体にも寄附をされているのですか。

委員：今までは、自分が住む自治体への寄附ができなかったのですが、ここ最近は寄附ができるようになりましたので、地元への寄附も行っています。寄附を行って感じたことは、寄附をきっかけに、全く知らないまちを知ることができる点です。返礼品にPR用のパンフレットが同封されていますので、自治体にとっても、地元をPRする効果があつてよい制度だと思います。

町長：最近では、農産物の特産物だけでなく、体験型の返礼品も人気があるようです。

委員：そうですね。豊山町であれば空港をPRする返礼品ですと、飛行機に興味のある方や飛行機が好きな人には非常に人気が出ると思いますし、普段では体験することができないようなプレミアム感があつていいと思います。

町長：たとえば、MR J最終組立工場のバックヤードとか、関連施設を見ることができるツアー企画など面白いと思っています。春日井市や小牧市では、フジドリームエアラインズの航空チケットを返礼品にしたり、その他複数の特産品を返礼品として出しているようです。

委員：私は、ふるさと寄附金を行っていますませんが、空港のPRを含めた体験型の返礼品はいいと思います。しかし、空港に来るまでの旅費を考えると、近場の方の利用がメインになり、利用者は限定的になるのではないかと思います。豊山町は、他の自治体のように返礼品として出せる農産物はあるのですか。

委員：農産物は、利用者の目も肥えており、中途半端に出してしまうと、逆に評価を下げてしまうので、なかなか難しいようです。

座長：ちなみに、返礼率はどうされるのですか。

課長：今の制度設計では、手数料等を含めて4割を想定しています。調べてみますと、他の自治体とだいたい同じ返礼率です。

座長：資料を見る限り、寄附金の額は自治体間で差が非常に激しい印象を受けます。都城市は42億と非常に多いですね。ただ、寄附金制度がなくなってしまうと、地元産業が大打撃を受けることも懸念されます。

副町長：この財源をもとに新たな事業を行ってしまうことが最も懸念されます。いつまで寄附金制度が続くかどうかは不明ですが、なくなった際、財源確保の点から考えますと、行政経営上、非常に危ない制度だと思っています。

座長：実際、この制度で自治体をPRすることは、プラス面、マイナス面の両方があると思います。豊山町は、注目を浴びているMRJ関連を含め、空港をPRすることで、この町に住んでみたいと思えるような取組をしていただけるといいですね。

町長：先日、フジドリームエアラインズにお話を伺った際、機長や副機長が実際に利用するフライトシミュレーターが静岡県にあるそうです。このフライトシミュレーターの体験を返礼品にすると、人気が出るのではないかと考えています。他では絶対に体験することができません。

委員：確かに、好きな人であれば、旅費を払ってでも体験したいと思いますね。

町長：そうですね。静岡県まで足を運んでいただく必要はありますが、静岡まで行って体験するだけの価値は絶対にあると思います。

委員：とにかく、寄附金制度がある以上、他の自治体に負けないよう財源確保に努めていただくとともに、町のさらなる発展の契機となるようPRを行っていただければと思います。

座長：豊山町の財源構成をみておきますと、固定資産税が根幹を成しているように見受けられます。寄附金制度もそうですが、航空機産業のまちですので、産業のさらなる発展により、固定資産税だけでなく、法人町民税や人口増加による町民税の増収が基本的な構造であり、本命だと思っています。寄附金制度やネーミングライツもいいかと思いますが、基礎を強化することが大事ではないでしょうか。

課長：ちなみに、固定資産税につきましては、空港関連施設の新設により約5億円の増収がありました。

座長：非常に大きいですね。今後の政策が大事になってくるとは思いますが、その話題は次の議題になりますので、まずは事務局の説明をお聞きしてから意見交換に入りたいと思います。

<議題2 将来に向けての豊山町の行政組織・サービスのあり方について>

理事：(資料に基づき、豊山町の人口、面積、産業等の状況について説明)

座長：豊山町の面積や人口では、基礎的自治体として町民に必要な施設を町単体で整備することは不可能だと思います。そういった中で、一部事務組合や近隣市町との連携により、相互に不足部分を補っていくことが重要だと思います。今後、その不足する範囲が拡大していくと思いますし、行政事務の範囲も拡大することで、職員数の不足も想定されます。10年先とは言いませんが、20年後には、豊山町に限らず、日本全体が悪い方向に進んでいるのではないかと思います。この議題につきましては、この場で結論が出る内容ではありませんので、他の委員からの意見もいただければと思います。

委員：この問題は、将来の自治体全体に係る問題と豊山町固有の問題との2つを識別し、どう対処していくかがポイントであり、豊山町の将来像を見据えるうえで最も大事なことだと思います。ちなみに、人口が増加しているにもかかわらず、卸売販売額が減っているというのは、どういった要因があるのでしょうか。

理事：大きな原因は、北部市場の不振だと思われます。公の施設の区域外設置ということで、名古屋市が豊山町に設置している施設です。

座長：私は、豊山町が卸売業を主体として生きていくというイメージがあまりなく、近隣自治体との連携や、国内に留まらず、海外の関連都市との関係強化など、方法はどうかであれ、やはり航空機産業を中心としたあり方が今後の課題であると思いますが、いかがでしょうか。また、商業の現状についても併せて教えていただければと思います。

理事：航空機産業につきましては、ご承知のとおり三菱重工業を中心に発展してまいりました。MR Jの最終組立工場につきましては、町や近隣市町による行政側の産業振興策も相まって、順調に推移しているところです。商業につきましては、国際線ターミナルの跡地にオープンした大型商業施設が賑わいを見せております。三菱航空機の本社機能が本町に移転したこともあり、約3千人の流入人口超過となっておりますが、こうした方々が町に滞在し、消費してもらえるかということ、実はそういった滞在する場所がございません。多くの方が町外からバスや自家用車で通勤し、そのまま町外に戻ってしまうのが現状です。今後は、あいち航空ミュージアムがオープンすることもあり、いかに豊山町に留まり、町で消費していただくか、その点が重要だと思います。

副町長：ざっくりばらんに申し上げますと、本町で三菱または北部市場が撤退するとなると、非常に大打撃を受けることとなります。それくらい、製造業では三菱が多くを占め、卸売業では北部市場が多くを占めております。それ以外の製造業や卸売業はほとんどありません。そもそも、本町には商店街がありませんが、それで日常生活が完結

していました。

町長：最近では、町で飲食する場所も減っており、人の動きも少ないのが現状です。

座長：委員の皆さんは、他の自治体に行かれる機会も多いと思いますが、いかがでしょうか。

委員：最近では、すべてが平均点という企業は生き残れません。うちは、これが強みですか、うちでしかこれはできませんとか、今は特徴ある企業が求められています。豊山町でも、何か特徴を出すことが大事だと思います。財政状況が厳しい中、新たな事業を行うことは難しいかと思いますが、限られた財源で特徴を活かした行政運営を行うことがカギではないでしょうか。ただ単に、他の自治体が実施しているから、うちも実施するという時代ではなく、そのスタンスでは生き残れないと思います。日進市では、子育て支援に特化したサービスを行っています。豊山町でも何かに特化したビジョンを打ち出し、その実現のためにどういった計画で進めていくのか、こうした取組が今後は必要ではないでしょうか。

座長：やはり、豊山町といえば航空機産業が最大の特徴であり、特にMR Jといえば全国的に見ても非常に珍しい独自の産業だと思います。これを活かした振興策をぜひ考えていただければと思います。

委員：ただ、1社依存は危険なので、その対策も併せて考えていくべきだと思います。

委員：航空機産業だけでなく、宇宙産業もありますので、そのあたりを活かした振興策も検討してみたいはいかがでしょうか。

委員：大企業だけでなく、中小企業の育成も踏まえた振興策もいいと思います。

座長：他の自治体と比較しても、豊山町は非常に恵まれていると思いますので、これを維持できるような行政運営を行っていくべきでしょうね。

町長：空港のある自治体は、全国で数多くありますが、飛行機を製造している自治体は他にはありません。

座長：聞いたところによりますと、北海道やその他都道府県の人口10万人前後のいわゆる基礎自治体であっても、高校を卒業すると就職先がないため、市街地に転出してしまい、その人数がそのまま人口減少になるそうです。それくらい厳しい状況にあるそうです。そうした点から見ましても、豊山町は非常に恵まれている自治体であると思います。ただ、現状を維持すれば、町の将来は安心だという話ではありません。豊山町として行っているサービスを今後も維持できるかどうかという問題は、町だけの問題ではなく、近隣の自治体にも影響を及ぼします。職員の確保につきましても非常に大事な問題であって、今後は職員を募集しても集まらないという問題が生じます。10年後、20年後に豊山町が勝ち組になるのかどうかが決まると思っていますので、今後は、こうした問題を長期展望で検討していただく必要がありますので、町長を中心に議論していただければと思います。それでは、時間になりました。

たので、本日はここで終了とさせていただきます。

課長：それでは、本日の会議はこれで終了いたします。ありがとうございました。その他、よろしかったでしょうか。

座長：今後、将来の豊山町についてさらに議論を深めていくためには、問題を絞って議論した方がいいと思います。どうしてもテーマが大きすぎて、意見の言いつ放しで終わってしまうおそれがあります。

課長：では、委員の意見を踏まえ、次回の懇談会に反映させたいと思います。最後に、自席にて報酬をお配りしますので、印鑑をご用意のうえ、今しばらくお待ちいただきますようお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。